

和をもって

第25号

発行
成相山成相寺
京都府宮津市字成相寺339
TEL.0772-27-0018
http://www.nariaiji.jp/

三密とは

新緑の季節。大きく深呼吸したい季節ですが、世の中は大変な事になってしまいました。皆様方に於かれましてはご無事でお過ごしでしょうか。お見舞い申し上げます。

この原稿を書いております時が丁度緊急事態宣言全面解除が報道された頃です。又変化しているかもしれません。厄介なウイルスです。本当に経験した事の無い程の、大きな犠牲が払われた今年の春でした。

『三密』という言葉は毎日のように

耳にします。初めの頃は少し驚きましたが、我々真言宗ではこの言葉はとても大切です。

真言密教の修法を『三密』といい、『身密』手に仏の象徴である印を結び、『口密』口に仏の言葉である真言を唱え、

『意密』心を仏の境地に置くことによつて、仏と一体になる努力をしていくことをいいます。

つまり日常生活のなかで、「行動・言葉・こころ」に意識を向け、整えていくことが三密の実践です。

また、十善戒というのがあります。

『不綺語』心にもない綺麗ごとを言わない

『不悪口』悪口を言わない

『不両舌』二枚舌を使わない

『不慳貪』欲張らない

『不瞋恚』憎まず、怒らない

『不邪見』間違った考え方をしない

今まで経験したことのない混乱した世の中で、意味は違えども、三密の教えと云うのがとても大事であると共に、この十善戒の言葉の一つ一つも、今の時勢の中でもう一度見直していただきたい戒めの言葉ですね。

なかなか、教えの通りに十の戒めを守るものではありませんが、毎日の生活の中で（守れるように努めます）と、お心で仏さまと対話して頂きたいと思えます。

コロナウイルスに罹患した方が、心もとない誹謗中傷に傷つき悲しい思いをされたとか、医療関係者の家族の方までもが、敬遠されるとかのニュースを目にしたときに、何とも言えない悲しみと脱力感が苛まれました。心無い言葉を平気で投げつける方達

は今まで生きてきて何を学んでこれたのだろうか。

自粛や休業で生活がほんとに大変な方々が沢山おられます。誰か他人にこの持って行き場の無い怒りをぶつけたいのかもしれませんね。

それが良い事とは、思つてらっしゃらないのでしょうか。解つておいでだと思います。苦しい立場のお気持ちお察し致しますが、好き勝手自由に言つて良い事ではないですね。

祖父の哲眞の言葉を思い出します。『自由と平等』この和をもつての一号にも掲載させていただきましたが。

『自由』とは。何を言つてもいい、好きなことをしてもいい自由。これは動物の自由である。人間として今を生きる私たちの『自由』とは義務と責任を背中に背負つて行かなければ、本当の自由は勝ち取れない。

もう一度「自由」の意味を考えて頂きたいと思いました。

どうか皆様方お一人お一人のお心に安心出来る何かを持ち続けてください。それが助けになってくれます。苦しいときの支えになってくれます。まだまだコロナ禍は終息しそうに無いですが、皆様のご無事とご健康を心から願つております。

南無観世音菩薩

弘眞



よくご存じの方もいらっしゃると思えますが、仏前勤行次第の初めに出できます。『不殺生』むやみに生き物を殺さない 『不偷盗』盗まない 『不邪淫』男女の道を外さない 『不妄語』うそ偽りは言わない

古松の会より (お写経の会)

今からおおよそ1200年前の弘仁9年、京の都を中心に激しい日照りと全国に疫病が猛威をふるったそうです。時の帝、嵯峨天皇はこの事態を治めるべく弘法大師空海に相談をされました。そこでお大師様が帝に勧められたのがお写経でした。

信仰心の深い帝は、紺紙に金泥で一字書かれることに仏様に三礼し書写され、その結果、疫病も無事に治まり暗い社会に光明が差し込んだと伝えられております。

そして今、我々もまた疫病により不安で苦しい生活を強いられている現状です。

ご自宅で過ごされる時間も多くなると思いますが、今こそお大師様の教えに則り、ご家族や大切な人の為にお写経は如何でしょう。

皆様のお写経の功德により、このコロナ禍が少しでも早く静まることを願います。

また、一日も早くこの混乱が収束しますようにとの願いを込めて、この度、秘鍵大師の護符を作り、疫病退散をお祈りいたしました。普段の生活の中で目に留まりやすい所にお祀りいただき、この厳しい時世を乗り切るための心の拠り所として頂けましたら有難く存じます。

まだしばらくは予断を許さぬ状況が続くかと思われませんが、どうぞご自愛ください。

皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

ご希望の方は写経用紙をお送りいたします。よろしければお申し込みください。



観音経偈文3巻入りで1セット



般若心経5巻入りで1セット

※特別展示※



国宝・雪舟筆天橋立図 (京都国立博物館蔵)
国宝展示期間11月7日(土)～11月23日(月) 予定

令和2年10月24日(土)～12月13日(日)
この度、成相寺のふもとにある丹後郷土資料館にて開館50周年記念特別展が開催されます。期間中には国宝『雪舟筆天橋立図』、また京都府指定文化財『成相寺参詣曼荼羅』も特別展示されます。
減多に展示されることがありませんのでこの機会に是非お越しくください。

ご案内